

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
三豊総合病院企業団	病院事業		

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続 ●
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

昨年度以前と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、また、人口減少の影響からも患者数は減少しており、収益はコロナ前と比べて減少したままであるが、国が推進する病院、診療所等の機能分化が進んでおり、重症患者の比率が上がり1人1日当たりの収入は増加傾向にあり収益は回復してきている。結果として経常収支が100%以上を保っている。また累積欠損金もないことから健全経営は維持できていると考えている。今後も人口減少などにより患者数の増加が見込まれないと思われるが、請求漏れの削減などいかに収益単価を増やすかが今後の課題であり、出来るだけ医療機器等の無駄のない購入を行なう。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
三豊総合病院企業団	介護サービス事業	介護老人保健施設	介護老人保健施設わたつみ苑

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当施設の介護圏となる観音寺市及び三豊市の総人口はいずれも減少傾向であるが、高齢者数及び高齢化率は増加傾向にある。また、要支援・要介護認定者数についても増加傾向であるため、今後の当地域における介護サービスの需要はこれまで同様にあるものと予想される。そのため、現行の経営体制を継続する予定である。